

# プログラム

2012年 **11**月**10**日(土)~**11**日(日)  
会場: 国際日本文化研究センター セミナー室1

*Picture postcards in Modern Asia : Empire, Representation, and Network*

## 11月10日(土)

総合司会: 稲賀繁美

- 13:00 基調講演 貴志俊彦(京都大学地域研究統合情報センター)「情報資源としての絵はがきとその利用」
- 13:30 第一部 帝国と植民地の表象 コメンテーター: 阿部安成(滋賀大学)
- 向後恵里子(早稲田大学文学学術院)「掌上の帝国—日露戦争期における絵葉書」  
山路勝彦(関西学院大学名誉教授)「台湾を見せる—植民地観光と絵葉書」  
朴美貞(国際日本文化研究センター)「植民地朝鮮の表象とテキストとしての絵葉書」
- 15:30 第二部 古写真・絵葉書で再現する古都の景観・風景 コメンテーター: 谷川竜一(京都大学地域研究統合情報センター)
- 富井正憲(漢陽大学建築学部)「異邦人の瞬間捕捉—京城・1930」展の報告  
西村陽子(国立情報学研究所)「《乾隆京城全図》と画像史料を用いた北京古景観の再現」  
樋口 穰(京都外国語大学)「古都の変遷—絵葉書による京都市域景観変化解説の試み」

17:30 終了・懇親会予定

## 11月11日(日)

司会: 林 洋子

- 10:00 第三部 情報・ネットワークとしての絵ハガキの解析 コメンテーター: 稲賀繁美(国際日本文化研究センター)
- 森 洋久(国際日本文化研究センター)「日文研におけるデータベース化について—画像資料を中心に」  
生田 誠(絵葉書研究家)「絵葉書の過去と未来—メディア、文化資源としての可能性」  
吉井秀夫(京都大学)「慶州の古蹟写真研究における絵ハガキの史的情報—仏国寺・石窟庵の場合を中心に」

12:00 閉会

## 協賛イベント 特別展示企画

### 懐かしい古都への旅—日文研所蔵画像資料を中心に

#### 展示会場

国際日本文化研究センター  
セミナー室周辺廻廊

#### 展示期間

2012年11月10日(土) 11:00-17:30  
2012年11月11日(日) 9:30-12:30

#### 展示物概要

絵はがき・絵図・地図・旅行案内ほか  
映画 清水宏監督『京城』(1940年製作)



京都・京城・北京



(左上) 北京の城壁と門

(右上) 京都の水運

(左) 京城の城壁と門



124. South Gate, Seoul (京城), In 1905.

※当日、会場には絵葉書関連の書物・文献のブックフェア用のテーブルを用意しています。ご自由にご参加くださいませ。

#### 日文研までの交通案内

桂坂中央行きのバスで「桂坂小学校」又は「花の舞公園前」下車

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
国際日本文化研究センター(日文研)



- 阪急桂駅西口から  
京阪京都交通バス  
「20」「20B」(約20分)  
市バス「西5」「西6」(約30分)
- JR京都駅から  
京阪京都交通バス  
「21」「21A」「26」(約45分)
- JR桂川駅から  
ヤサカバス「1」「6」(約30分)



#### 問い合わせ先

朴美貞(国際日本文化研究センター) e-mail: mijeoung@nichibun.ac.jp

貴志俊彦(京都大学) e-mail: tokishi@cias.kyoto-u.ac.jp

シンポジウム

近代アジアをめぐる絵はがきメディア

帝国・表象・ネットワーク

#### 主催

基盤研究(A)「東洋」的  
価値観の許容臨界:「異  
質」な思想・藝術造形の  
国際的受容と拒絶」(研  
究代表者: 稲賀繁美)

挑戦的萌芽研究「朝鮮博  
覧会と京城の空間形成」  
(研究代表者: 朴美貞) 科  
研・基盤(B)

「エスニック・メディアにお  
ける太平洋戦争と戦後  
の記憶と記録」(代表: 貴  
志俊彦)

京都大学CIAS共同利  
用・共同研究萌芽研究ユ  
ニット「メディアとテクノロジー  
からみる地域間情報」

#### 共同主催

NIHU 東洋文庫拠点現代  
中国研究資料室

東洋文庫超域アジア研  
究部門現代中国研究班  
国際関係・文化グループ